

第 1 検討部会 会議録

会議の名称	第7回 第1検討部会
開催日時	平成19年11月15日（木）午後6時5分から8時17分
開催場所	メディアセブン コミュニケーションスタジオ AB
出席者	（部会長）金井副委員長 （副部会長） 金子委員、神尾委員 （委員）池田委員、落合委員、林委員、宮原委員
会議内容	・増田氏（マンション組合理事長）インタビュー ・運営調整部会（以下、単に調整部会）の役割・進め方
会議資料	
発言内容	■増田氏（マンション組合理事長）インタビュー ※別添インタビューメモを参照 ■調整部会の役割・進め方について ・今後の部会の進め方について前回の全体会議の後で投げかけさせていただき、本日は1枚のペーパーにまとめてお配りしました。 ・本日は部会の進め方についてご意見をお聞かせいただきたいのですが、その前に運営調整部会でどのような議論があったのかという報告をしたいと思います。 ・まず調整部会の副部会長の選定という議題がありましたが、結論は出ませんでした。 ・次に、調整部会で何をするのかという点の議論があり、広報・PIを早くやりたいという委員の意見と、広報は時期尚早で、まずは条例策定に向けた見通しをつける工程表・スケジュールを決めるべきだという意見がありました。 ・調整部会では何をするのか、調整部会と各部会との分担はどうするのかという点が宿題となり、次回の調整部会（20年1月開催予定）までに各部会に戻して議論することになりました。 ・つまり、調整部会は何をすべきだと部会の委員は考えるのか、調整部会に何をゆだねて何を委ねないのかという点が議論となりました。 ・立石委員長からの宿題は3つありまして、①調整部会の副部会長の選出、②調整部会で何をどこまでやるのか、③調整部会で議論するテーマです。②③はほぼ同じと考えられます。 ・はじめに市役所の押田総合政策課長から説明があり、市としては条文案を作成するにあたっての作業を調整部会に担ってほしいという話がありました。 ・それに対しては、まずPRをすべきだという意見とまずスケジュールを

	つくるべきだという意見がありました。 ・また委員のなかには毎月調整部会やろうという声もありましたし、その頻度では日程調整だけでも大変ではないかという意見もありました。 ・日程調整も大変なので、予め調整部会の日程を決めておきましょうという意見と、何をやるかわからないのに日程を決めるのかという意見がありました。 ・やるべきことを決めるにも先に日程を決めておかないといけないという意見がある一方、まだいいんじゃないのという人もいまして、部会で十分に議論しない状態では調整部会で議論できないという意見もありました。 ・そこで部会において、調整部会で何を議論すべきか、またスケジュールをどうするか提案してほしいとのこととなりました。 ・部会長の報告の通りです。結論といっても、確認したわけではありませんが、調整部会はどういう役割なのかという点を各部会で検討してほしいということになりました。どういう広報をするのか、各部会で熟しているのかどうかも含めて、そういったことを議論してほしいということでした。 ・最終的には次回調整部会は来年の1月かなあということで終わっているのが事実ですが、一方では連絡調整なのだから頻繁に開催すべきだという意見もありました。 ・全体的な思いは同じでしょうが、それぞれに進み方はあると思います。 ・宿題を我々に出されており、みなさんのいい知恵があれば、調整部会にもって行きたいと考えています。 ・これからの運営のあり方を検討部会に返そうと、市民の声を吸い上げるための広報について持ち帰り検討しようとなりました。 ・金井部会長がおっしゃっていて共感したのは、調整部会での議論が優先してしまって、部会が中心なはずなのに、調整部会に参加できない委員が疎外感をもつようになってはいけないということです。 ・ある自治体では、運営調整を掌る幹事会的な部会や報告書を具体的に検討する起草委員会的な部会をつくった段階で、全体会のその他大勢の人が蚊帳の外となったということだったようです。また、幹事会的な部会も広報に力を割き過ぎて本題に十分な時間をとれなかった側面もありました。 ・穿った見方をすれば、行政側はそうした点を想定していたのかもしれませんが。それもあって、早期のP I・広報を調整部会が行うのには、私
--	--

	個人としては消極的でした。 ・ ホームページで議事録が公開されていますが、普通の市民の方がアクセスしてみようという気持ちにはなりにくいのではないのでしょうか。 ・ 期が熟したら広報するといっても、いつになるのか。ステップ・ステップで到達したものを市民の皆さんに啓発、広めていけるふうにはできないかと思います。 ・ その部分を調整部会が考えることにするのか、それとも、部会でこういうアイデアがあるので調整部会で検討してくれという提案をするのか、が大きなポイントです。 ・ 今広報しても、市民の声を十分に反映できないのではないかと思います。先日（11月7日）の自治基本条例策定委員会で各部会から発表された中間報告について市民の意見を求めても、市民を混乱させるだけではないのでしょうか。「こういうことをやっています」という報告はできるでしょうが。 ・ 条例案ができれば、意味のある広報・P Iはできると思います。 ・ 各部会で条例案を作って、それを持ち寄って調整するのが調整部会の役割と考えていました。「早くスケジュールを明らかにして各部会でいつまでに部会案を出すのかを決めて、各部会の条例案を作って持ち寄り、調整部会あるいは全体会で進めていく」というステップを明らかにした方がいいということと、我々としては、条例案の部会原案を作り、調整部会に持ち寄り、最終条例案を纏めるために真剣に討議していただくことが役割か、と個人的には思っています。 ・ 調整部会が各部会に対していつまでに案を出してくれというデッドラインを引く、また、その後、部会から提起された案を足したり引いたりするのが調整部会の役割というお考えですね。 ・ そういうスケジュールのなかで広報を出すなら、「今、ここまできています」というようなことを途中で何度か知らせていくことになるのかと思います。 ・ 各部会の途中経過を委員や市民に報告することは必要でしょう。 ・ 広報の作業は誰がやるのかという点も議論する必要があります。調整部会がやるのか、別途広報委員会をつくるのかという話ですが、非常にエネルギーが必要となることですので詰めていかないといけない点です。
--	---

- ・各部会ごとに事務局を勤めていただいている野村総研にお願いするという方法は考えられないでしょうか。
- ・私見ですが、調整部会を見る限りでは、広報についてかなり熱心にやりたいという委員がいらっしゃるようなので、やりたい方がやるというのがよいかと思います。
- ・ただし、やりたい人のやりたいようにやってよい、ということではないと思います。
- ・確かに、自治基本条例検討委員会の名前で広報をするのですから、広報にあたっての方針は調整部会で決める必要があります。
- ・広報の問題ですが、必要だという意見もありますが、具体的にどのような内容にするかという議論がないと、今はホームページの議事録は読まないかもしれないけれど、一番正確だと思います。
- ・ただ、わかりやすくとしたときには、編集部会を持ちその編集部会での議論に全体の意思が反映される必要があります、個人プレーにならないようにしないといけません。広報をもっと分かりやすくというアイデアは大事ですが、具体的にどうするかということです。個人的には、その人の意見を尊重しつつ、どう組み立てればいいのか本人に聞いてみたいという思いはあります。
- ・広報誌を配布する場合予算はどうするか、どこに配布するか。そうしたことを検討するグループをつくることは必要かと思います。
- ・調整部会として、具体的な話ができるように広報の分科会のようなものを設置しないと、具体的には動けないでしょう。どういう段階でどのような具体的な作業をするのか検討する必要があります。
- ・落合委員から具体的な提案がありましたが、調整部会でスケジュールを決めて節目を明らかにして、各部会で条例の骨子案を各部会を出して、調整部会で調整を開始するという段階が広報のひとつの区切りだとは思いますが。それに向けて金子委員がいうように編集部会を立ち上げて具体化ができて調整部会で図って、かつ検討部会に戻してという感じでしょうか。
- ・広報のことも重要なのですが、条例の草案づくりを調整部会が担うのか、それとも各部会が担うのかという論点が最も重要かと思います。部会で起草して、調整部会で調整するという案もあれば、調整も複数の部会同士でやるという方法もあります。また起草を調整部会がやるという方法

	もあります。 ・各部会で条例原案を作ることなく調整部会で起草するのであれば、部会を5つに分けて各部会ごとにそれぞれの視点で条例策定を検討してきた意味がないと考えます。 ・明治憲法では4人の起草者が島にこもって作ったということですが、これでは民衆が作ったとは言えないのは当然でした。 ・調整部会にスケジュールを考えてほしいといっても紛糾するでしょうから今後のスケジュールの原案をみなさんから提案してほしいと思います。 ・みなさんが大事な時間を割いてくださっているので、市民が作ったんだよというものにしたいと考えます。 ・そのためにも、誰がいつ何をやるかという工程表の案を、ぜひ皆さんから出してほしいと思います。 ・次回以降の部会でこのことについて、毎回30分程度の打合せを行いたいと思います。 ・最終的にはそうして各部会での意見をまとめていただきたいと思います。 ・次回の部会では、金子委員さんにお話をお伺いできるようお願いしたいと思います。また、自治基本条例に入りたい項目出しなども行ってきたいと思います。 ・現役だけに話しにくいなあというのが率直な感想ではありますが。 ・それぞれのお立場を公平にお話を聞いていきたいと思います。 ・職員組合の人に聞くということも考えたのですが、川口市では組合の組織率は低いということです。他の自治体では、組合が弱体な場合、当局側の能力も上がりにくいという側面はありますが。 ・次回は金子委員さんを中心をお願いします。また、今後、商工関係者にも聞きたいと考えています。 ・「具体的テーマ」案の「川口市官僚制の分析」は、人的な話に焦点が当てられているかもしれませんが、加えて、組織改革の歴史やそれらの組織のできた目的を見ると、市の行政経営の流れや狙いも分かるのではないかと思います。なおこの場合の「組織」には、部局・課・支所などに
--	--

	限らず、審議会や委員会など臨時に設けられたものをも含めるとよい、と思います。 ・そうした点も大変重要かと思います。組織改革について語れる人にもお話を伺う方向で検討します。 ・本日はこのあたりで終了したいと思います。どうもありがとうございました。
次回以降日程	・次回は 11 月 28 日 18 時から、次々回は 12 月 14 日 18 時から。